

次代の日本を牽引するスタートアップが

ここに集う

★★★
FASTAR 13th

DEMO DAY & Business Matching

2026.08.27 (THU)

13:00-18:30

登壇企業との交流会
17:30-18:30

虎ノ門ヒルズフォーラム 4FホールB

東京メトロ日比谷線『虎ノ門ヒルズ駅』直結 / 東京メトロ銀座線『虎ノ門駅』直結



中小企業の価値を、
日本の原動力に。

デモデイの詳しい情報、参加申し込みは
FASTAR 公式ページをご確認ください



中小機構 FASTAR

検索

<https://fastar.smrj.go.jp/demoday/13/>

TIME SCHEDULE

12:30

入場受付

13:00

開会挨拶 / 事業説明 / 審査員挨拶 / ピッチ説明

PITCH

13:20- ピッチ 1

ライフサイエンス

バイオテクノロジー

13:20
-13:30

EyeVita (創業前)

内科医が診断可能な小型眼底カメラと診断支援AIの社会実装を目指す



P4

13:30
-13:40

共創システム研究所株式会社

AIとロボット技術で歩行を分析・支援する共創型DXベンチャー



P5

13:40
-13:50

株式会社セルフォールド

細胞足場技術で重症下肢虚血向け再生医療を実用化する



P6

13:50
-14:00

ViveSpoon株式会社

摂食症の治療ギャップを埋める医師伴走型 SaMD



P7

14:00
-14:10

株式会社 MycoGenome

糸状菌で地域未利用資源を高機能素材へ転換するバイオものづくり



P8

14:10

休憩 5 分

PITCH

14:15- ピッチ 2

クリーンテック

マテリアルテック

14:15
-14:25

株式会社ソラマテリアル

空気に浮くほど軽い超軽量材料で、航空宇宙の軽量化ボトルネックを解消する



P9

14:25
-14:35

NT技研工業株式会社

21世紀の住宅事情に合ったコンパクトタワー型独立分散・高性能太陽光活用システム



P10

14:35
-14:45

CaMaDo (創業前)

超高速気体分離膜を用いた富化酸素製造技術により、工業炉の燃料費と CO2 排出を削減



P11

14:45
-14:55

GOMIソリューションズ株式会社

熱分解技術を活用した循環型廃棄物処理装置の開発・製造・販売



P12

14:55
-15:05

タカマクロン (創業前)

植物ごとに最適な熱耐性・成長制御を実現するテラーメイド型バイオスティミュラント



P13

15:05
-15:15

株式会社 Path Being

バイオ炭で土壌を再生し、持続可能な食料生産をつくる



P14

15:15
-15:25

株式会社ミーバイオ

光で微生物を制御し、ナフサに頼らず化学品原料を生産する東大発バイオものづくり



P15

本イベントは現地 + オンラインのハイブリッド開催です。
途中参加、途中退席 OK



15:25 休憩 5分

PITCH

15:30- ピッチ 3

AI DX ITサービス

15:30
-15:40

株式会社mBiRS

地理空間情報やXR技術による社会課題解決型DXのプロダクトを開発



P16

15:40
-15:50

株式会社キャリアサバイバル

製造業の暗黙知を民主化する、AI技能伝承マニュアル生成プラットフォーム



P17

15:50
-16:00

株式会社GEMBA

工場レイアウト図で製造現場の管理、改善活動を見える化するDXアプリ「GEMBA」の開発



P18

16:00
-16:10

blocksky 株式会社

AI検索時代の企業認知を可視化・改善する



P19

16:10
-16:20

LOOVIC 株式会社

マニュアルをなくす、空間タスク支援。人の認知をシェアする技術。



P20

16:20
-16:30

株式会社Swell

学校向け英語教材「TypeGO」で、型にはまらない自由な言葉の学習環境を構築する



P21

16:30 投票案内 / 主催者からの案内 / 休憩

16:55 表彰式

17:20 閉会挨拶

17:25 休憩・移動等

17:30-18:30 交流会 現地・会場にて自由行動



現地会場では、
新たなイノベーションの種を生み出すきっかけとして、
ピッチ登壇企業と現地観覧者とのネットワーキングを目的とした
交流会のお時間を設けております。お気軽にご参加ください。

挨拶のみでも OK 名刺交換のみでも OK

交流会ブースMAPがP22にございます。

※プログラム時間・登壇企業は変更の可能性がありますのであらかじめご了承ください



EyeVita（創業前）

代表者	水野 優氏
住所	創業前
web	創業前

事業概要

内科医が診断可能な小型眼底カメラと診断支援 AI の社会実装を目指す

内科医を含む非専門医でも眼底診断が可能となる小型眼底カメラと、信頼性の高い診断支援AIの社会実装を目指すものである。日本では眼科医の数が内科医の約1/8と少なく、都市部に偏在していることから、山間部や離島など地理的要因により眼科受診が困難な患者が多い。その結果、早期に眼科を受診していれば防げたはずの失明患者が増加している。専門医でなくとも使用可能な機器と、医学的エビデンスに基づくAIの活用により、医療アクセスの格差を解消し、視覚障害の早期発見・失明予防を実現する。2031年の医療機器承認および保険償還を目指す。防げる失明をゼロにし、誰もが適切な医療を受けられる社会の実現を目指している。

強み・アピールポイント

基盤となる技術は、国立がん研究センター東病院、広島大学、光学メーカーが共同開発した光学設計技術および医用画像処理 AI 技術を活用しており、小型・軽量かつ安価な眼底撮影デバイスおよび疾患検出のための診断支援 AI を実現している。この要素技術により、非専門医でも高精度な眼底診断が可能な機能を搭載している。すでに複数の医療機関での実証を通じて技術的な有効性が確認されている。

マッチングニーズ

協業・共同開発

医療機器製造販売許可（第二種）を有する医療機器メーカーとの協業を希望しています。

資金調達

国内治験実施におけるシード調達（1.5億円）を希望しています。

代表者プロフィール



代表取締役 CEO
水野 優氏

広島大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院で糖尿病・代謝内科診療に従事し認定内科医を取得後、広島大学病院・県立広島病院で眼科診療に従事し、眼科専門医を取得。厚生労働省では保険診療に関する政策立案支援に携わり、その後、広島臨床研究開発支援センターで臨床研究を主導。現在は国立がん研究センター東病院で医療機器開発の PM を務める傍ら、小型眼底カメラと診断支援 AI を開発し、防げる失明ゼロの実現を目指している。



共創システム研究所株式会社

代表者

三宅 美博 氏

住所

〒108-0023 東京都港区芝浦 3 丁目 3-6

web

<https://co-creation.jp/>

事業概要

AI とロボット技術で歩行を分析・支援する共創型 DX ベンチャー

東京科学大学発の研究成果を医療・介護分野で社会実装するベンチャーです。主力製品は2つ。

- ①「C-Walk」: IMUとカメラ映像を融合し、特別な機器なしで歩行動作を定量分析する歩行分析計（一般医療機器）。整形外科や介護現場での運動機能評価、術後リハビリの効果測定に活用できます。
- ②「Walk-Mate」: 人とロボットのリズム同調理論に基づき、高齢者や患者の歩行を安全にサポートする歩行支援ロボット。最近では観光関連団体との連携のもとバリアフリー観光ツアーにも導入し、実証を進めています。研究知見に基づく高精度な計測技術と、実際の医療・介護・観光現場での実装経験を組み合わせ、「歩行」を軸にヘルスケアと社会参加を支える全く新しい人間中心事業を展開しています。

強み・アピールポイント

- ①学術的な裏付け：東京科学大学の歩行分析・リハビリ工学研究をベースに、査読付き論文や特許出願を伴う技術で製品化しており、エビデンスの信頼性が高い。
- ②現場実装力：単なる研究止まりでなく、医療機器（一般医療機器）としての製品化、整形外科医との臨床連携、ANA 系列企業との観光事業連携など、複数のフィールドで実証を積んでいる。
- ③データ × AI：IMU・カメラ・MediaPipe によるマーカレス動作解析を組み合わせ、低コストかつ高精度な歩行評価を実現。研究データベースとの蓄積により将来的な予測モデルへの展開も可能。
- ④公的資金の獲得力：AMED、JST-CREST 等の公的研究資金への採択実績・応募経験があり、社会実装の資金基盤を確保しやすい。

マッチングニーズ

協業・共同開発

スポーツ関連企業、フィットネスジム、歩行トレーニング事業者との協業を希望します。C-Walk による歩行計測データを活用した運動指導・効果測定サービスの共同開発先を求めています。また、Walk-Mate を活用した観光地でのロボット街歩き、レンタル展開に向けた事業化を共同で検討できる事業者（観光・レンタル業）も歓迎します。

資金調達

医療機器・ヘルスケア分野に投資実績のある VC や事業会社（CVC）からの出資を希望します。シード～プレシリーズ A での資金調達を想定しており、公的研究費と組み合わせた事業化資金の確保先を探しています。加えて、Walk-Mate を用いたロボット街歩き観光・レンタル事業の展開・事業拡大に関心のある出資先（観光・地域活性化系ファンド含む）も求めています。

代表者プロフィール



代表取締役社長
三宅 美博 氏

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。金沢工業大学助教授、東京工業大学大学院准教授・教授、東京科学大学教授を経て、東京科学大学名誉教授。現在は同大学情報理工学院情報工学系特任教授（2024 年度まで副学院長）、データサイエンス・AI 全学教育機構特任教授（2024 年度まで機構長）。人間と人工物の相互作用による創造性の生成と向上を「共創システム」という観点から研究し、人間相互のリズム同調の仕組みに着目した歩行アシストシステム「Walk-Mate」等を開発。ミュンヘン大学医学部客員教授、東京大学医科学研究所客員研究員、計測自動制御学会共創システム部会主査／副主査を務める。



株式会社セルフォールド

代表者

山原 研一 氏

住所

〒104-0061 東京都中央区
銀座 1 丁目 12 番 4 号 N&E BLD. 6F

web

<https://www.cellfold.jp/>

事業概要

細胞足場技術で重症下肢虚血向け再生医療を実用化する

移植可能な細胞足場Injectable Cell Scaffold (ICS)の開発を通じ、細胞治療・再生医療をより身近なものにし、世界中の患者に必要とされる会社を目指すアカデミア発医療系スタートアップです。ICSは直径約50μmの球状構造を有し、中心部は生体吸収性高分子、表面は細胞接着能を有するハイドロキシアパタイトで被覆された基材です。CD34陽性細胞を多く含む自己単核細胞をICS表面に担持し、虚血組織に長時間留めることで、血管新生効果を高めることを目指します。現在、重症下肢虚血を対象としたICS血管新生療法の探索的医師主導治験が進められており、安全性に加え有効性が示唆されたことから、検証的治験および製造販売承認を目指しています。将来的には、難治性潰瘍、心筋梗塞、脳梗塞など他の虚血性疾患や、他の細胞ソースとの併用展開も見込み、今後国内外での実用化を進めています。

強み・アピールポイント

細胞治療の課題である移植細胞の局所保持性を注射可能な細胞足場 ICS により改善し、血管新生効果の向上を目指す独自技術にあります。ICS は直径約 50μm の球状基材で、生体吸収性高分子を中心に部に持ち、表面を細胞接着能のあるハイドロキシアパタイトで被覆しています。臨床で汎用される自己末梢血単核細胞と併用でき、従来の再生医療に比べて安価かつ安全に繰り返し実施できます。AMED 支援のもと、重症下肢虚血を対象とした探索的医師主導治験が実施され、安全性と有効性が示されています。今後、重症下肢虚血向け検証的治験を実施し、製造販売承認を目指すほか、難治性潰瘍、心筋梗塞、脳梗塞など他の虚血性疾患や、他の細胞ソースへの展開も見込める点が大きなアピールポイントです。

マッチングニーズ

協業・共同開発

ICS 技術の適応拡大や他細胞ソースとの組み合わせを見据え、他の再生医療企業との共同開発・事業連携を希望しています。また、国内外での臨床開発、製造体制構築、海外展開を支援いただける VC・CVC との連携も求めています。

資金調達

重症下肢虚血向け ICS 血管新生療法の検証的治験、製造・品質体制の構築、投与デバイス開発、海外展開を推進するため、再生医療・医療機器領域に知見を有する VC・CVC・事業会社からの資金調達を希望しています。

代表者プロフィール



代表取締役 CEO
山原 研一 氏

1996 年大阪市立大学医学部卒業後、京都大学医学部附属病院第二内科で研修。京都大学大学院医学研究科博士課程、Imperial College Harefield Heart Science Centre 博士研究員を経て、2006 年より国立循環器病研究センター再生医療部室長。2018 年兵庫医科大学先端医学研究所准教授、2021 年同研究所分子細胞治療部門長、2022 年より教授。2025 年 8 月、株式会社セルフォールドを設立し代表取締役就任。



ViveSpoon 株式会社

代表者

亀谷 仁郁 氏

住所

〒920-1164
石川県金沢市角間町未来知実証センター 5F

web

<https://vivespoon.app>

事業概要

摂食症の治療ギャップを埋める医師伴走型 SaMD

摂食症(拒食症・過食症)は精神疾患の中でも命に関わる病気である。しかし治療は長年進歩がなく、有効な薬もほとんどない。専門的に診られる医師は国内にごくわずかで、時間もかかり、多くの精神科医は診たくても診る手立てがない。患者は治療に届かず、診察と診察の間をひとりで衝動と闘っている。「Spoon DTx」はこの両方を解決する治療用アプリ(医師の処方で使うプログラム医療機器)。専門外の医師でも、一般の精神科外来でそのまま治療を始められる。患者用アプリ、医師用の管理画面、数字が見えない特製の体重計が連動し、衝動が起きたその瞬間にアプリが介入。12週間の心理療法プログラムと数日ごとの症状スコアで、治療の手応えを医師と患者の双方に見える化する。試作版の検証では参加者全員が治療を続け、症状改善の手応えを得ている。日本と豪州から世界を目指す。

強み・アピールポイント

- ①特許：治療プログラムは国際出願済み。②規制：PMDA(医薬品医療機器総合機構)と相談を重ね、新しい医療機器としての承認を目指して開発中。③ネットワーク：摂食障害支援拠点病院を含む大学病院・専門医との連携体制。豪州など海外とのコネクションもすでに構築している。
- ④データ：治療を通じて集まる患者の経過データは、治療精度を高める資産になる。試作版の検証では少人数ながら全員が治療をやり遂げ、症状改善の手応えを確認。現在はより本格的な試験を進めている。チームには、国内の治療用アプリの治験を主導した経験を持つ医師・野村章洋、元ソニーのチーフデザイナー・入矢真一が参画。医療・規制・ものづくりの経験者がそろっている。

マッチングニーズ

協業・共同開発

共に事業を加速いただくパートナーを募集しています。治療用アプリや IoT 機器・AI の開発パートナー、医療機器の承認申請や品質管理(QMS)を支援いただける企業、摂食症の治療に参画いただける精神科医療機関・大学病院、体重計の製造パートナー、豪州など海外展開の支援者を歓迎します。将来の事業提携を見据えた製薬・医療機器企業との連携も積極的に進めます。

資金調達

シード資金として約 2 億円を調達中です。資金は治療用アプリの開発、治験の準備、日豪での承認申請に充て、豪州発売、日本での保険適用を目指します。長年新しい治療が生まれていない市場で「摂食症の治療アプリ」という新カテゴリーを切り拓き、M&A・IPO での出口を描きます。ヘルスケアや医療機器に知見を持つ VC、製薬・保険の CVC、エンジェルとの対話を歓迎します。

代表者プロフィール



代表取締役 CEO
亀谷 仁郁 氏

精神科医・博士(医学)。金沢大学附属病院・神経科精神科助教。日本海側で初の摂食障害支援拠点病院(金沢大学附属病院)で 10 年以上臨床に従事し、同院での摂食症専門外来の設立から従事している。既存の診療に対する構造的な限界があるという問題意識から、摂食症に特化した治療用プログラム Spoon DTx を開発中。2026 年 8 月に ViveSpoon 株式会社を設立し、代表取締役 CEO として開発・市場展開を主導する。



株式会社 MycoGenome

代表者

林 修 氏

住所

〒102-0071 東京都千代田区富士見
1-3-11 富士見デュプレックス B's 4F

web

<https://www.mycogenome.co.jp/>

事業概要

糸状菌で地域未利用資源を高機能素材へ転換するバイオものづくり

地域の食品加工副産物等を廃棄物ではなく、地域産業を支える生産資源として捉え直し、糸状菌発酵により食品等に利用可能な高機能成分へ転換する「地域循環型バイオものづくり」の実現を目指しています。東京理科大学の研究成果を基盤とする非CRISPR型ゲノム編集技術「MycoEdita™」と自律複製ベクターを活用し、原料と生産目的に応じて糸状菌を選定・機能改良します。対象菌株によっては、外来遺伝子を残さない非遺伝子組換え型の菌株改良も可能です。これにより、未利用資源の分解能力、目的成分の生産性、分泌能力、環境耐性等を高め、地域ごとに異なる「未利用資源×糸状菌×生産成分×需要先」の組合せを一体的に設計します。地域で生じる未利用資源を地域産業が必要とする素材へ転換し、その価値を地域内に還元する仕組みを構築することで、環境負荷の低減と地域産業の競争力向上に貢献します。

強み・アピールポイント

非 CRISPR 型ゲノム編集技術「MycoEdita™」と独自の自律複製ベクターを組み合わせ、従来は形質転換や遺伝子改変が難しかった多様な糸状菌の機能改良を可能にする点です。さらに、糸状菌が持つ分解・分泌・物質生産能力を活かし、未利用資源を培養原料として活用することで原料コストを抑え、菌株改良によって生産性を高め、市場ニーズに応じた高付加価値成分を生産することで、バイオものづくりの大きな課題である事業採算性の改善を目指します。既存菌株に原料や製造工程を合わせるのではなく、地域の原料特性と需要に応じて糸状菌を選定・改良し、「未利用資源 × 糸状菌 × 生産成分 × 需要先」の組合せを一体的に最適化できることが当社の優位性です。これにより、地域の未利用資源を高付加価値化し、環境負荷を低減するとともに、生み出した価値を地域へ還元する地域循環型バイオものづくりの実現を目指します。

マッチングニーズ

協業・共同開発

食品加工副産物等の未利用資源を高付加価値化したい企業や、既存の高機能成分製造における環境負荷・生産性に課題を持つ企業との共創を希望します。精密発酵による生理活性物質・分解酵素等の開発に加え、バイオマス発酵によるタンパク質や必須アミノ酸を含む発酵素材の開発を通じ、原料評価から用途開発・事業化までを共同で進めるパートナーを求めています。

資金調達

食品加工副産物等の未利用資源を高付加価値化したい企業や、既存の高機能成分製造における環境負荷・生産性に課題を持つ企業との共創を希望します。精密発酵による生理活性物質・分解酵素等の開発に加え、バイオマス発酵によるタンパク質や必須アミノ酸を含む発酵素材の開発を通じ、原料評価から用途開発・事業化までを共同で進めるパートナーを求めています。

代表者プロフィール



代表取締役社長
林 修 氏

大阪府出身。東京工業大学大学院修了後、日東電工株式会社で研究開発、量産技術開発、新規事業開発に従事。その後、株式会社フジミインコーポレーテッドで CVC 業務を担当し、スタートアップ投資とハンズオン支援を実施。独立後は、テクノロジーの社会実装支援に取り組み、名古屋大学特任准教授、大阪大学医学部特任准教授として、スタートアップの事業開発支援や大学研究者の創業支援に従事。その中で東京理科大学の創業メンバーと出会い、2024 年に株式会社 MycoGenome を設立。休日は料理、ゼンタングルを楽しんでいる。



株式会社ソラマテリアル

代表者	大里 智樹 氏
住所	〒466-0064 愛知県名古屋市長区鶴舞1丁目2番32号
web	https://sora-materials.com



事業概要

空気に浮くほど軽い超軽量材料で、航空宇宙の軽量化ボトルネックを解消する

名古屋大学発のディープテックスタートアップとして、空気密度の0.5~10倍という究極の軽さと、電磁波の遮蔽・吸収、断熱、吸音といった機能性を両立する「超軽量材料」を開発しています。軽量化が性能・安全性・燃費を直接左右する宇宙機、航空機、ドローン/AAM(空飛ぶクルマ)、自動車などを主要ターゲットに、研究開発・ソリューション提案・製造を通して素材の社会実装を進めます。素材そのものを軽量化かつ多機能にすることで設計の自由度を高め、部品点数や総重量の削減に貢献します。短期は電磁波マネジメント材料、中長期は吸音断熱材の展開を計画。「マテリアルでソラを身近に」をビジョンに、超軽量材料で航空宇宙開発の技術的ボトルネックを解消します。名古屋大学発スタートアップ/JAXAパートナースタートアップ。

強み・アピールポイント

第一に、空気よりも軽い領域までを射程に収める独自の超軽量材料設計技術。第二に、軽量化と電磁波遮蔽・吸収/断熱/吸音という複数機能を一体で実現するマルチファンクション性で、部品点数と総重量の削減に直結します。第三に、ニアネットシェイプ成形による高い形状自由度と、用途・要求仕様に応じて密度や機能を調整できるチューニング性、研究開発から製造・ライセンスまで一気通貫で提供できる実装力です。実績面では、内閣府 SIP 採択、知の拠点あいち重点研究プロジェクト採択、在日フランス商工会議所「French Tech Tokyo Award」受賞、三菱 UFJ グループ「Rise Up Festa」最優秀賞受賞、東洋経済「すごいベンチャー 100」選出に加え、内閣府公式 YouTube チャンネルでの紹介など多方面で評価を獲得。エアロマート・トゥールーズや CES への出展など海外展開も推進しています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

- ①宇宙機・航空機・ドローン/AAMのメーカーおよび Tier1：電磁波マネジメント材・吸音断熱材の共同評価 / 実証
- ②自動車・電機メーカー：電磁波遮蔽・吸収/断熱用途での素材採用・量産設計
- ③量産化/製造パートナー、ライセンス供与先
- ④素材・化学メーカー：原料供給・複合化の共同開発。航空宇宙品質(認証・試験)に共に対応いただける方を歓迎します。

資金調達

電磁波マネジメント材料の製品化・量産体制構築と、航空機 / 自動車向け吸音断熱材の研究開発を加速するため、ディープテック・素材・航空宇宙に知見を持つ VC、事業会社の CVC(航空宇宙/自動車/電機/素材)、政府系・大学系ファンドからの調達を検討。設備投資・人材採用・認証取得に充当し、2032 年頃の IPO を見据えた成長投資をご一緒できる方を求めています。

代表者プロフィール



代表取締役
大里 智樹 氏

大学時代、鳥人間サークルにてパイロットを担当

ISAS/JAXA 特別共同利用研究員にて CNT を用いた複合材料の研究に従事

名古屋大学 / 工学研究科 / 化学システム工学 修了 (修士論文 最優秀賞)

株式会社 IHI (株式会社 IHI エアロスペース 出向) 生産技術部に複合材料を用いた航空機向け製造技術開発に従事

コンサルティング会社を経て株式会社ソラマテリアルを共同創業、代表就任



NT 技研工業株式会社

代表者

仲 崇志 氏

住所

〒591-8025 大阪府堺市北区長曽根町 130 番地 42
(さかい新事業創造センターS-Cube 内ラボ館 223)

web

<https://ntgiken.industries/>

事業概要

21世紀の住宅事情に合ったコンパクトタワー型独立分散・高性能太陽光利活用システム

ZEHとは、家庭での一次エネルギー消費量の収支が正味ゼロ以下になる住宅で、断熱等による省エネと太陽光等の創エネ機器を組み合わせる形が想定され、政府は毎年多くの区分新設や優遇措置などが続いている。

しかし、新築のZEH物件に比べ既存住宅のZEH改修件数は1/12に留まっており広がっていない。これは従来の太陽熱温水器や発電パネルは屋根上に設置されることが多いため、屋根上荷重が増加する際、建築基準法上の耐震補強や足場設置・建築確認コスト等が追加発生するためと考えられる。そこで当社では地面に自立し、太陽を追尾する集光装置と、下部の固定焦点に集まる光を季節・天候等に応じて給湯と電源、さらに自然光照明も可能な出力・機能を可変する高性能な新型ソーラーシステムを開発している。結果としてこのニュータイプの選択肢により、太陽光の導入困難だった条件でも無理なく推進でき、脱炭素化とエネルギー自給率向上を果たす。

強み・アピールポイント

追尾機能により固定型に比べ稼働率は1.5倍以上、集光効果で総合効率率は3~4倍の80%までの発展性を持っている。夜間へのエネルギータイムシフトコストを考慮し集光水冷発電と温水給湯と組合せたことで蓄電池も最小量でZEH要件を実現できる。また本機はシンプルな形状の機械部品とフレームと既製品の樹脂ミラー等で構成されている設計のため、●導入物件・設置条件に応じて高さも多段化・調整できるため、複数モデルの開発も不要&部品の在庫保管コストも多くなからない●新型ソーラーパネル工場のような高品質・大面積化といったクリーンルームと専用生産ラインなどの大規模投資は不要●災害時等で一部が破損しても勝手に発電しないため、各部品の分解・修理・再組立も人の手で安全に行える●互換性を重視し、高性能化開発アップグレードパーツの供給体制で早期導入ユーザーも最新機と同等の性能発揮。といった強みがある。

マッチングニーズ

協業・共同開発

日本国内ではZEHビルダー/プランナー、地方工務店に加え、不動産業者やデベロッパーとの提携を希望。海外ではPCT国際特許出願中の熱電供給システムと回転追尾集光装置の普及による世界展開を見据える。送電網未整備・停電多発地帯での地産地消、途上国での農業用コールドチェーン電源、紛争地での海水淡水化や仮設医療機関向け電源など、幅広い活用を想定。現地でも生産可能な設計のため、合併会社や技術指導・ライセンス許諾による現地生産型の展開を望む。

資金調達

・国内不動産、住宅産業関係・地域内エネルギー供給事業者(系統は非連携)・宿泊施設運営事業者(離島、リゾート等プロパンガスエリア)・ウェルビーイング事業を手掛ける保険会社・介護施設運営事業者・海外展開において協業可能な現地生産・販売網等を有する商社・JICA事業などに強い途上国支援機関・人体と太陽光との関係に造詣の深い研究機関・飲料水問題解消を目指す自治体・政府等

代表者プロフィール

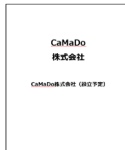


代表取締役
仲 崇志 氏

埼玉県所沢市出身、県立川越高校卒。

大阪府立大学大学院工学研究科電子／数物系専攻（修士）

修論テーマは半導体量子ドットの光学特性に関する研究だったが、就職時から温度差発電等のエネルギー機械設計開発に従事。大量生産・大量消費・廃棄物処理を前提とした現代物質文明に対し「この星の明日のために」あるべき文明のあり方を模索してきた。「そこにあるものでなんとかする」JUGAAD思考、ものづくり・エネルギー技術史、SF、古代文明遺跡と食文化研究、インド映画等、趣味は雑多。



CaMaDo (創業前)

代表者	櫻澤 遼太氏
住所	創業前
web	創業前

事業概要

超高速気体分離膜を用いた富化酸素製造技術により、工業炉の燃料費とCO2排出を削減

空気から酸素を分離濃縮する「超高速気体分離膜」を用いた富化酸素製造技術の事業化です。コア技術であるグラフェン包接ゼオライト分離膜は、従来困難だった窒素と酸素の超高速分離を実現し、既存の深冷分離法やPSA法に比べ製造エネルギーを1/3以下、コストを最大1/6に低減します。この技術を工業炉向けに「レトロフィット可能な富化酸素供給ユニット」として製品化します。燃焼効率の向上により、大幅な燃料費とCO2排出量の削減(1万kWh規模の炉で年間約4,000万円の燃料費と約1,000トンのCO2削減)を同時に達成します。

強み・アピールポイント

従来技術の 1000 倍以上の速度で窒素と酸素を分離できる革新的コア技術です。世界トップの技術であり、信州大学単独の特許取得等により強固な競争優位性を築いています。

これを応用したユニット既存工業炉に追加で組み込めるため大規模な設備改修が不要であり、低投資で大幅な燃料費削減と CO2 削減を両立できる投資対効果の高さが魅力です。

さらに、本技術は他用途への展開可能性が非常に大きい点もアピールポイントです。アンモニア・水素燃焼の効率向上や、燃料電池車 (FCV) への搭載による発電効率向上への寄与など、酸素を必要とするあらゆる領域での展開が見込めます。

マッチングニーズ

協業・共同開発

気体分離膜を組み込んだユニットの装置化・量産化を共に進めるエンジニアリング会社やパートナー企業との協業を希望します。装置設計・プラント開発に知見のある人材とのマッチングも歓迎します。

実証実験や共同開発に興味を持っていただける工業炉メーカーおよび工業炉ユーザー (鉄鋼、化学、ガラス等) のお声がけもお待ちしております。

資金調達

シードラウンドでの資金調達を検討しています。資金は分離膜の大型化・量産化に向けた技術開発や初期設備、知財取得に充当します。共に伴走いただける VC や、事業シナジーが見込める事業会社、CVC 等からの出資を希望しています。

代表者プロフィール



代表取締役 (予定)
櫻澤 遼太氏

1991 年埼玉県生まれ。筑波大学生命環境科学研究科生物科学専攻修士課程修了。コンサルティングファームにて、ドローンや製造業など幅広い業界における新規事業立ち上げや事業戦略立案に多数従事。本技術シーズを持つ信州大学の犬塚氏 (高校の同級生) との縁を機に、日本の競争力強化に貢献したいという思いから本プロジェクトへ参画。ビジネスモデルの検証や顧客開拓をリードし、2027 年のスタートアップ設立に向け、事業者との折衝や事業計画立案を推進している。

GOMIソリューションズ株式会社



代表者

関山 一太 氏

住所

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区
浅野 3 丁目 8 番 1 号 AIM ビル コンパス小倉

web

<https://gomi-solutions.com/>

事業概要

熱分解技術を活用した循環型廃棄物処理装置の開発・製造・販売

熱分解技術を活用した循環型廃棄物処理装置の開発・製造・販売を行っています。プラスチックを中心とした可燃性廃棄物を無酸素状態で熱分解し、再生油・炭・可燃性ガスなどの資源として回収することで、廃棄物の減容化と資源循環を同時に実現します。回収したエネルギーは装置の運転にも活用できるため、外部エネルギー消費の低減にも貢献します。国内外の自治体や企業向けに展開しており、島嶼地域やインフラ未整備地域など、従来の焼却処理が難しい地域への導入も進めています。本社は福岡県北九州市ですが、主に海外において展開しており、パラオ・ツバル・東南アジアを中心としています。

強み・アピールポイント

熱分解技術による「廃棄物を資源へ変える」循環型システムを、小規模から導入できる点です。焼却ではなく熱分解方式を採用することで、廃棄物から再生油・炭・可燃性ガスを回収し、処理コストと環境負荷の低減を両立します。日本国内外で培った技術を基に、ツバル、パラオ、ウクライナ、バングラデシュなど海外でも実証・事業展開を進めています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

廃棄物処理などの資源循環の実現に困っている企業様

資金調達

プロジェクトベースのブリッジ融資を検討しております。※エクイティ投資の資金調達予定はございません。

代表者プロフィール



代表取締役
関山 一太 氏

明石工業高等専門学校卒業後、パナソニック株式会社に機内エンターテインメントシステムの開発に従事。米国・イスラエルを含む開発・製造プロジェクトを担当し、新製品立ち上げ責任者も経験。その後、自転車で世界を巡る中で深刻な廃棄物問題を目の当たりにし、熱分解技術による資源循環の可能性に着目。現在は世界各国で廃棄物資源化プロジェクトを推進している。

タカマクロン（創業前）

Takamakron
Nara Women's University

代表者
住所
web

相馬 正護 氏
創業前
<https://takatsuka-lab.jp/research/>



事業概要

植物ごとに最適な熱耐性・成長制御を実現するテラーメイド型バイオスティミュラント

気候変動による生育不良・早咲き・品質低下は、農業・園芸の深刻なペインです。当社のタカマクロンは、双性イオン液体を基盤とする世界初の低分子バイオスティミュラント。分子構造を設計・改変することで、作物ごとに「どの効果を・どのスピードで・どれだけ持続させるか」を調整できるテラーメイド型です。既に6種類の化合物バリエーション（T1～T6）を保有し、50℃の熱ショック試験で高い耐性向上を確認。さらに、競合製品にない「成長の一時抑制」効果も実証済みです。事業としては安全性検証が不要で競合の少ない花卉・緑化市場から参入し、研究面では既に野菜・穀物（レタス・米等）での実験にも着手済みです。奈良女子大学発の第1号スタートアップとして、KSAC・SMBC・ヤンマー等の助成金・支援プログラムに採択されています。

強み・アピールポイント

第一の強みは、作物ごとに効き方を設計できる「テラーメイド型」であることです。バイオスティミュラントは、同じ製品でも強く効く作物とそうでない作物の差が大きいという特性があります。当社は低分子の合成化合物のため品質が安定して量産に適し、分子構造を自由に設計できます。既に 6 種類のバリエーション（T1～T6）を保有し、対象作物ごとに最適な一つを選ぶ点が本質的な差別化です。

第二の強みは、競合製品にない「成長の一時抑制」効果です。近年の気候変動により開花時期の早まりが進み、花が十分に育たないまま咲いてしまう未成熟や、それに伴う品質低下が深刻な問題となっています。当社は植物の成長を一時的に抑えることで、開花や収穫の時期をコントロールすることを可能にします。市場に競合がないブルーオーシャンを狙える、当社独自の効果です。

マッチングニーズ

協業・共同開発

植物の熱被害に困っている方を広く探しています。具体的には、農家・種苗会社・花屋・葬儀屋・フラワーイベント主催者・緑化事業者（ビル緑化等）などです。現在はラボでの実験で効果が確認できた作物から、実証実験へと段階的に進めていくことを計画しています。実際の現場で試していただけるパートナーや、協業・共同開発のご相談を歓迎します。

資金調達

アーリーステージから投資可能な VC や、事業シナジーが見込める CVC を広く探しています。特に CVC では、農業・化学メーカー、花き・園芸関連企業、緑化事業に従事する企業（不動産・ビル緑化メンテナンス等）、農業関係の販売に強い専門商社との連携を期待しています。奈良女子大学発の第1号スタートアップとして、FASTAR13 期・KSAC・SMBC 等に採択済みです。

代表者プロフィール



奈良女子大学協力研究員
相馬 正護氏

BriQ 合同会社代表、奈良女子大学 研究員（事業開発担当）。大学卒業後、日立製作所、日産自動車を経て、独立系化学会社の代表取締役として管理部門全般を掌握。製造業でのキャリアを長く積む。2024 年に BriQ 合同会社を設立し、大学や企業と連携した DeepTech（先端技術）の事業推進に取り組む。現在は奈良女子大学発の技術「タカマクロン」の事業化を主導し、戦略策定・パートナー連携・資金調達を担っている。



株式会社 Path Being

代表者

伊藤 淳氏

住所

〒256-0817 神奈川県小田原市西酒匂 1-8-27-509

web

<https://www.pathbeing.com/>

事業概要

バイオ炭で土壌を再生し、持続可能な食料生産をつくる

世界、特に途上国で進む土壌劣化と食料生産の不安定化に対し、農業残渣をバイオ炭へ転換し、土壌改良と炭素除去を同時に実現する事業です。ウガンダではコーヒー農家と施用実証を進め、ザンビアでは複数の農業残渣を活用した炭化設備の導入を推進しています。生産したバイオ炭を現地農家の土壌改良に活用し、化学肥料への依存低減と農業生産の安定化を目指します。さらに、土壌中に長期固定した炭素を炭素貯留クレジットとして販売し、その収益を次の生産・施用へ還元させることで、食料問題と気候変動の双方に継続的に取り組む仕組みを構築します。

強み・アピールポイント

代表は 2014 年にウガンダで起業し、前事業を日系大企業へ譲渡した経験を有します。当社は現在、アフリカ 4～5 か国で、農業法人・協同組合など 14 の現地パートナーと事業を構築しています。強みは、農業残渣の確保、炭化設備の選定、現地での生産・施用、バイオ炭販売、炭素貯留クレジットの創出までを一体で設計・実行できる点です。地域ごとの原料量や運営能力に合わせた分散型モデルにより、小規模農家を巻き込みながら、特定の原料や地域への依存を抑え、複数拠点へ展開できる再現性を備えています。経済産業省等の補助事業にも採択され、実証と事業化を進めています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

アフリカでのバイオ炭プロジェクトに共同参画いただける企業を募集しています。農産物サプライチェーンを持つ企業に加え、環境、エネルギー、設備、商社、物流などの分野で、資源循環、脱炭素、新規事業、アフリカ展開に関心のある企業との連携を希望します。現地の農業残渣を活用した実証や、持続可能な農業生産の仕組みを共に構築したいと考えています。

資金調達

ウガンダ、ザンビア等の個別プロジェクトへの出資者、共同実証費・R&D 費・調査委託費を拠出いただける事業会社・投資家を募集しています。炭化設備の導入、現地での生産・施用実証、CDR 認証取得までを段階的に進め、大規模な社会課題の解決と高い収益性の両立を目指す事業モデルを共に構築したいと考えています。

代表者プロフィール



代表取締役社長
伊藤 淳氏

アクセンチュアで約 8 年半勤務後、2014 年にウガンダで起業。全国配送と代金回収を担うラストマイル事業を立ち上げ、約 7 年間運営した後、2020 年に日系大企業へ事業譲渡。2022 年には南インドで廃棄物の堆肥化事業を立ち上げ。現在は株式会社 Path Being 代表として、アフリカ 4～5 か国で農業残渣を活用したバイオ炭事業を推進している。

mii**bio**

株式会社ミーバイオ

代表者

早水 建祥 氏

住所

〒136-0082 東京都江東区新木場 2-3-8
三井リンクラボ新木場 1

web

<https://www.mii-bio.com/>

事業概要

光で微生物を制御し、ナフサに頼らず化学品原料を生産する東大発バイオものづくり

東京大学・佐藤守俊教授が発明した光スイッチタンパク質を基盤とする独自技術「mii-Bioprocess®」を開発する東大発ディープテック企業です。光照射で微生物の「増殖」と「物質生産」を切り替えることで、従来のバイオ生産で最大の壁だった増殖阻害(生産物の毒性が菌自身を殺す現象)を克服し、芳香族化合物を低コスト・大量に生産します。芳香族はナフサ(石油)由来に依存し、その供給は中東など地政学リスクの高い地域に集中しています。当社は非可食バイオマスからの生産により、脱炭素と経済安全保障、半導体サプライチェーン強靱化に貢献します。主軸のパイプラインは半導体部素材へと繋がります。共同研究、技術ライセンス、自社生産の3事業を柱に、NEDOのGX分野ディープテック支援(STS)採択、三菱ケミカルエンジニアリングやタイの製糖企業との連携を進めています。

強み・アピールポイント

光で微生物の増殖と物質生産を自在に切り替える独自技術です。生産物の毒性で菌が死んでしまう「増殖阻害」という壁を克服し、これまでバイオ生産が困難とされてきた芳香族化合物を、低コストかつ大量に生産できます。基盤となるのは、東京大学・佐藤守俊教授が Nature 姉妹誌に発表してきた世界的な研究成果です。加えて、石油由来品と同じ組成を作るドロップイン戦略により、既存の化学合成のサプライチェーンにそのまま乗せられる実装性の高さも特長です。さらに、脱炭素にとどまらず、経済安全保障や半導体サプライチェーンの強靱化といった多軸の社会的価値を持ち、国の重点政策分野とも合致します。

マッチングニーズ

協業・共同開発

バイオ由来の芳香族化合物に関して、共同で開発することにご興味があるお客様(化学会社様、化粧品会社様、その他最終製品メーカー様)

資金調達

資金調達を進めているので、VC、CVC、金融機関の方々

代表者プロフィール



代表取締役
早水 建祥 氏

1974 年生まれ、東北大学工学部出身。世界の社会課題を解決するために挑むディープテックアントレプレナーを天職として捉え、2019 年 4 月に東京大学佐藤教授と株式会社ミーバイオを設立。大学が持つ優れた技術シーズの社会実装に向けて、活動が続けている。



株式会社 mBiRS

代表者

森川 友博 氏

住所

〒466-0064
愛知県名古屋市長区鶴舞 1 丁目 2 番 32 号

web

<https://mbirs.jp/>

事業概要

地理空間情報やxR 技術による社会課題解決型 DX のプロダクトを開発

地理空間情報やxRなどのデジタル技術を活用し、自治体や建設・インフラ分野が抱える現場課題を解決するDX サービスを開発・提供しています。土地規制情報や地下埋設物をマッピングとARで可視化するプラットフォーム「GeoMappAR(ジオマッパー)」、土地境界をARで見える化する「TerraMakAR(テラマーカー)」、位置・撮影方向を自動記録し地図付き写真帳を生成する「PHOTONap(フォトナップ)」などのアプリケーションを展開。現場実務を起点に、既存業務の一部をデジタル化するだけでなく、業務フローそのものを再設計し、持続可能な社会インフラ管理の実現を目指しています。

強み・アピールポイント

行政・建設・インフラ現場への深い理解と、先端技術を実務で使える形に落とし込む実装力です。代表自身が自治体技術職、建設コンサルタント、建設 ICT 企業での経験を持つとともに、現場の課題を把握しています。単なるシステム開発ではなく、制度・業務フロー・利用者の行動まで含めてサービスを設計。自治体や民間企業との実証を重ねながら、地理空間情報や xR を組み合わせた独自サービスを複数展開しています。小規模組織ならではの意思決定速度と開発力を生かし、社会課題の発見から実証、事業化までを一気通貫で進められる点も特徴です。

マッチングニーズ

協業・共同開発

自治体・インフラ事業者・建設会社・建設コンサルタント・測量会社等との実証、共同開発、販売連携を求めています。特に、保有する施設台帳や現場データと当社の地理空間情報や xR 技術を組み合わせ、新たなインフラ DX サービスを共創できるパートナーを募集しています。

資金調達

複数の自社プロダクトの事業拡大、開発体制強化、全国展開に向けた資金調達を検討しています。単なる資金提供にとどまらず、自治体・建設・インフラ業界への事業シナジーや販路、事業成長支援を期待できる VC・CVC・事業会社との連携を希望しています。

代表者プロフィール



代表取締役 CEO
森川 友博 氏

岡崎市役所で 16 年間、道路・上下水道・都市計画など公共インフラの整備・維持管理に従事。その後、建設コンサルタント、建設 ICT ベンダーを経て 2024 年に創業。技術士（建設部門・下水道部門）や測量士、国交省の認定 ICT アドバイザーなどの資格と行政・建設現場・デジタルの 3 領域を実務で経験した知見を生かし、地理空間情報や xR などを活用した社会課題解決型の DX に取り組んでいる。



株式会社キャリアサバイバル

代表者

松岡 大介 氏

住所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区
名駅4丁目24番5号第2森ビル401

web

<https://career-survival.com/>

事業概要

製造業の暗黙知を民主化する、AI 技能伝承マニュアル生成プラットフォーム

製造業の深刻な人手不足と技能伝承の課題を解決する「AI Manual Coach」などのDXツールを展開しています。作業動画をアップロードするだけで、AIが要素作業を自動分析し、熟練工と非熟練者の定量的な「動作の差分」を瞬時に言語化・マニュアル化します。これにより、カン・コツ頼みの指導から脱却し、個人の感覚に依存しない最適な標準作業を策定します。さらに、不具合事例やノウハウを蓄積する「KAKO虎」などを通じ、現場のデータ資産をフル活用した“強いものづくり”を支援します。

強み・アピールポイント

「ものづくりのドメイン知識」と「最先端 AI 技術」が融合した圧倒的な現場実装力です。

キーエンスの生産技術やトヨタの設備保全、京都大学の AI 研究出身者など、製造業とテクノロジー双方のプロがチームを結成し、現場のリアルな課題に即したプロダクトを開発しています。高い技術力と現場ファーストの使いやすさが評価され、大手・中堅企業へすでに多数導入されています。カン・コツに頼らない独自の技術伝承アプローチで、製造業の生産性を飛躍的に向上させます。

マッチングニーズ

協業・共同開発

- 熟練工の技術継承や若手・外国人の早期育成に課題を抱える大手・中堅製造業
- 現場の動画データを活用した DX や安全・品質向上、生産性改善を推進したい企業

資金調達

- 製造業向けソリューション領域への投資・支援実績が豊富な VC、CVC、金融機関さま
- スタートアップの地方展開・グローバル展開を支援できるハンズオン型の投資家さま

代表者プロフィール



代表取締役
松岡 大介 氏

創業 60 年の町工場に生まれ、祖父の代から続いた家業の廃業を経験するという強烈な原体験を持つ。大学卒業後、アチーブメント株式会社にて中小企業から一部上場企業のコンサルティングに従事。IT ベンチャーの事業部長を経て、2022 年に株式会社キャリアサバイバルを設立。自身の廃業体験を糧に「日本の製造業の技術を未来へつなぐ」ため、AI を活用した技能伝承プラットフォームの普及を牽引する。



株式会社 GEMBA

代表者

藤井 聡史 氏

住所

〒448-0858 愛知県刈谷市
若松町 3 丁目 9 番地 YF ビル 3 階

web

<https://www.jp-gemba.com/>

事業概要

工場レイアウト図で製造現場の管理・改善活動を見える化するDXアプリ「GEMBA」の開発

製造現場が日常的に触れている自工場の「工場レイアウト図」を起点に、様々な管理・改善活動を直感的に可視化・一元管理する現場改善DXサービスです。一般的な電子帳票システムはフォーム入力からリスト形式にまとまるテキストベースなリストUIですが、GEMBAアプリはユーザーが使い慣れているアセットである工場レイアウト図上に業務データをマッピングするマップUIで場所と進捗を瞬時に見える化できるため、アナログで煩雑な現場業務を現場主導でスムーズにデジタル化できます。さらに蓄積された現場ナレッジを活用することで、日本発の製造ノウハウを世界に展開する基盤構築を目指しています。

強み・アピールポイント

製造現場が日常的に触れている自工場の「工場レイアウト図」を起点に、様々な管理・改善活動を直感的に可視化・一元管理できるため、一般的な電子帳票システムのテキストベースなUIよりも、製造現場の従業員にとって直感的で圧倒的に分かりやすいユーザー体験を構築しています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

製造業へソリューション提供をされている設備商社の
方々

資金調達

製造業 DX に関心のある CVC、VC の方々

代表者プロフィール



代表取締役
藤井 聡史 氏

株式会社デンソーで 13 年間、製造部の生産技術者として自動化・IoT・AI など様々な先進技術を活用した製造現場の DX 推進を担当。その中で、製造現場にデジタルの力を浸透させるには、その現場が目指している未来と一緒に向かうことが必須であるということを肌身を持って経験。2025 年 2 月、株式会社 GEMBA を設立。「お客様（モノづくりの現場）が目指す未来の現場を共に創る伴走者」として貢献することを目指しています。



BLOCKSKY Inc.

blocksky 株式会社

代表者

三浦 光氏

住所

〒107-0062
東京都港区南青山 3-1-36 青山丸竹ビル 6F

web

<https://blocksky.xyz/>

事業概要

AI 検索時代の企業認知を可視化・改善する

AI検索時代における企業・地域・ブランドの認知可視化と改善を支援する「SEOAI」を開発・提供しています。ChatGPT、Gemini、Perplexityなどの生成AI上で、自社や関連企業がどのように認識・推薦・引用されているかを分析し、Webサイトや公開情報の改善につなげます。従来のSEOに加え、AIに正しく理解され、比較検討に入るための新しいデジタルマーケティング支援を行っています。

強み・アピールポイント

生成 AI 上で企業や地域がどのように認識・引用・推薦されているかを可視化し、改善まで支援できる点です。ChatGPT、Gemini、Perplexity など複数 AI を横断して分析でき、従来の SEO では見えなかった「AI 上の認知」を把握できます。また、日本企業・日本語 Web に対応したデータ活用により、地域産業や中小企業の魅力発信、採用・販路拡大にも応用可能です。

マッチングニーズ

協業・共同開発

地域企業・産業団体・自治体・広告代理店・Web 制作会社など、AI 検索上での企業認知や魅力発信を共同で高められる協業先を求めています。地域産業の採用・販路拡大・ブランド発信に関する実証や共同提案を希望します。

資金調達

AI 検索・生成 AI・デジタルマーケティング領域に関心のある VC、CVC、金融機関、事業会社との資金調達・事業連携を希望します。地域産業支援や中小企業 DX に共感いただける投資家を求めています。

代表者プロフィール



代表取締役
三浦 光氏

2004 年に検索連動型広告事業のサーチテリア社を共同創業し、事業成長後に上場企業へ売却。現在は、生成 AI 時代の企業認知を可視化・改善する「SEOAI」を開発・提供し、AI 検索・LLMO 領域で事業展開を進めています。

LOOVIC 株式会社



代表者

山中 享 氏

住所

〒140-0015 東京都品川区西大井 1 丁目 1-2
J タワー西大井イーストタワー 2 階
西大井創業支援センター PORT2401

web

<https://www.loovic.co.jp>

事業概要

マニュアルをなくす、空間タスク支援。人の認知をシェアする技術。

「TASK+ai(タスカル)」は、熟練者の判断を「誰が・どこで・何を見て・なぜ判断したか」まで、15秒の音声と静止画で現場空間にそのまま残す、空間タスク支援プラットフォーム。Think Aloud Protocol——つまり「現場思考を、切り取る」手法によって、整ったマニュアルではなく、熟練者の生の判断ごと記録できる。フィジカルAIは空間で動く。だから人の知も空間に紐づけねばならない——この考えのもと、文字を読まず、現場で教えながら話すだけで知識が構造化される仕組みをつくった。新人教育、技能継承、多言語支援、人手不足対策に活かし、現場教育からフィジカルAI時代の空間認知データ基盤へと進化するサービスを目指している。

強み・アピールポイント

1. 特許で守られた独自技術——「目の前で 15 秒つぶやくと、自身の存在が複製される。本人がいなくても代わりに誰かを支援できる」——この仕組みに特許を保有している。単なる音声記録ではなく、空間に紐づいた認知データとして経験そのものを構造化する点に強みを持つ。
2. 現場に最適化された超シンプルなインターフェース——文字も、長尺動画も、複雑な操作もいらない。現場で教えながら 15 秒話すだけ。それだけで熟練者の「ここを見て」「ここで間違いない」といった判断の瞬間が、その場に紐づいて残る。受け手も現場で必要なときに呼び出すだけ。読み書きの負荷を極限まで削ぎ落とした、誰でも使える UI に特徴を持つ。
3. 熟練者の「判断」を分離し、資産化するアーキテクチャ——動画やマニュアルは「作業手順」を残すが、TASK+ai は「なぜその判断をしたか」まで空間に紐づけて構造化する。これにより、熟練者がいなくても現場品質を保てるだけでなく、蓄積された判断データがそのまま AI・ロボットの参照基盤となる。教えるたびに現場の知的資産が積み上がっていく設計に仕上がっている。

マッチングニーズ

協業・共同開発

「経験者の声を空間に宿す」私たちの技術を、より多くの現場に実装したいと考えています。製造、物流、建設、介護、点検など、技能継承や人手不足の課題を抱える現場をお持ちの企業様との協業を希望。蓄積した現場の認知データを AI・ロボットの知識基盤として活用する構想もあり、Physical AI 領域での共同開発など、社会実装に向けて事業会社、自治体との連携を希望する。

資金調達

TASK+ai を現場教育・技能継承 SaaS として事業拡大し、フィジカル AI 時代の「人の判断と自律」の完全統合 OS へと進化させるため、次の成長資金を求めている。2022 年 8 月に J-KISS 型新株予約権で 3,100 万円を調達し、現在はプロダクトと事業開発を加速中。現場 DX・HR Tech・Physical AI 領域に関心を持つ VC・CVC だけでなく、地域実証トライアルからの助成事業にも取り組みたい。

代表者プロフィール



代表取締役
山中 享 氏

身近な人の課題を原体験に、「人が人であることに帰着する」を信念として創業。AI が急速に進展する中、当初は真逆と捉えられがちだった「個性」に着目し、「人らしさを排除せず、構造化してテクノロジーで活かす」という独自のアプローチを研究開発してきた。これが結果的に功を奏し、フィジカル AI が求める「人の判断と自律」の完全統合 OS へと発展。人を育てることでフィジカル AI も育つ——そのコンセプトのもと、誰もが役割を持てる未来の実装を目指している。



株式会社 Swell

代表者

青波 美智 氏

住所

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町大字野尻2832

web

<https://swell-inc.com/>

事業概要

学校向け英語教材「TypeGO」で、型にはまらない自由な言葉の学習環境を構築する

TypeGOは、クラウド型のオンラインプラットフォームを通じて子どもたちに英語教育を提供する事業です。単なる語学学習ではなく、言葉を通じて自分自身や地元、日本文化を深く知る「地域学習」を土台としたカリキュラムを展開しています。教材は各地域の教育委員会や観光課などローカルプレイヤーと共同開発し、その土地ならではのコンテンツを反映。学校・子ども・教育委員会の三者に新たな負担をかけない運用モデルにより、全国の自治体への導入を進めています。収益は教育委員会からの行政予算・委託事業を通じて構成され、一自治体への導入後は他地域へも横展開しやすいストック型のビジネスモデルです。

強み・アピールポイント

英語教育を入口にしながら、自分自身や地元、日本文化を深く知る「真の地域学習」を通じてグローバルへ羽ばたく力を育てる点です。教材を地域の教育委員会や観光課と共同開発することで、ローカルな学びと世界への視野を同時に提供します。加えて、学校・子ども・教育委員会の三者に負担をかけない仕組みにより、母語、学校形態、都市部 / 地方、特別支援学級の有無、教員スキルの差を問わず「すべての子どもたち」に平等にアクセスを提供できる点は他にない差別化要因です。成果として、英語嫌いの減少、楽しみながらの習得、タイピングという実務スキルの獲得が実証されています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

実証実験／協働連携先として、教育を本気で考える以下の皆さまと一緒できると嬉しいです。

- ・教育委員会
- ・全国の学校の先生方（小中高、公立私立問わず）
- ・検定教科書販売会社
- ・教育関連事業者

資金調達

現時点で追加のエクイティファイナンス予定はありません。デットは検討しております。

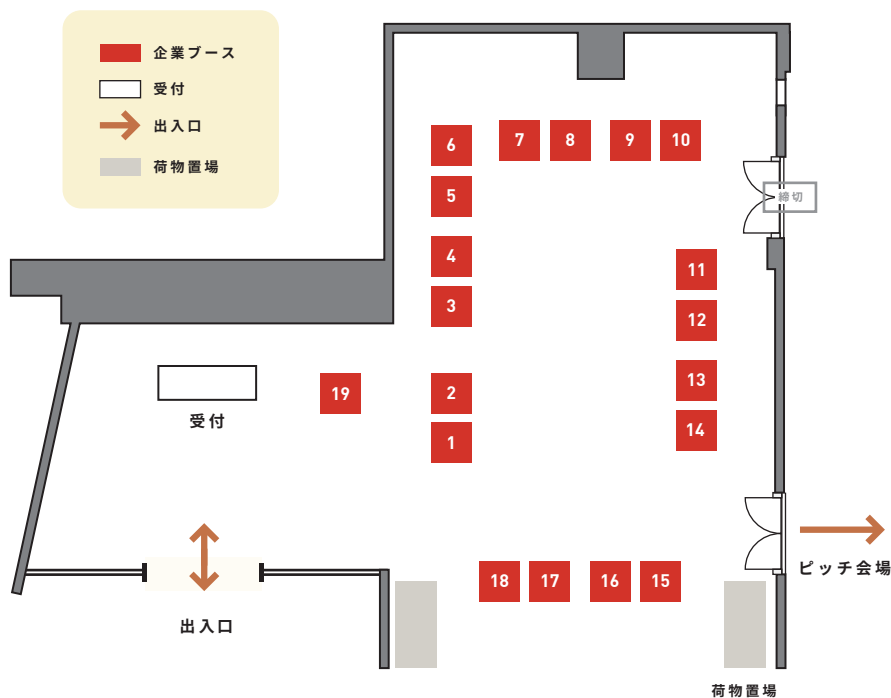
代表者プロフィール



代表取締役
青波 みさこ 氏

1992 年東京生まれ。東ティモール・ドイツの国連機関でのインターンやシンガポールでの勤務などを経て、2022 年に株式会社 Swell を創業。現在は長野県信濃町で 3 人の子どもを育てながら経営を続ける。TypeGO 誕生のきっかけは、妊娠中の渡米時、英語は話せるはずなのに「安定期」などの単語を知らず、友人にうまく近況を伝えられなかった経験。「話せても、知らない単語一つで会話が止まる」という悔しさが、実生活に根ざした語学教材づくりの原点になっている。最近の悩みは、肩こり。

交流会ブースMAP



参加企業一覧 / ブース番号

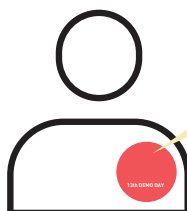
- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 EyeVita | 11 株式会社 Path Being |
| 2 共創システム研究所株式会社 | 12 株式会社ミーバイオ |
| 3 株式会社セルフールド | 13 株式会社 mBiRS |
| 4 ViveSpoon 株式会社 | 14 株式会社キャリアサバイバル |
| 5 株式会社 MycoGenome | 15 株式会社 GEMBA |
| 6 株式会社ソラマテリアル | 16 blocksky株式会社 |
| 7 NT 技研工業株式会社 | 17 LOOVIC 株式会社 |
| 8 CaMaDo | 18 株式会社 Swell |
| 9 GOMI ソリューションズ株式会社 | 19 地域スタートアップ支援ブース |
| 10 タカマクロン | |

登壇企業とのマッチングを促進！

コミュニケーションシール を貼ろう！



ご自身の分野が一つに絞れない場合は
複数貼り付け可能です



必ず胸元に
貼り付けて
ください

FASTAR

地域スタートアップ支援ブース

FASTARでは、全国の自治体・支援機関と連携し、地域発スタートアップの成長支援に取り組んでいます。本ブースでは、全国各地のスタートアップ支援施策やアクセラレーションプログラム、補助制度などの広報資料をご紹介します。

また、全国のスタートアップ支援施策に詳しい FASTAR 事務局メンバーが常駐しております。地域との連携や各地域の支援制度について、ご関心のある方はぜひお気軽にお声がけください。



オーディエンス賞投票



マッチング希望・来場者アンケート

オーディエンス賞の投票と、アンケートについては
こちらの二次元コードよりご回答をお願いいたします。

本イベント開始後にフォームを公開します。公開後にご回答ください。

GUIDE

中小機構支援策ミニガイド



ジエグテック
J-GoodTech スタートアップマッチングスクエア

スタートアップ企業を大手企業、VC、海外企業に紹介。
様々な企業とスタートアップ企業の連携・取引ニーズを公開し、マッチングを推進します。



スタートアップ挑戦支援事業

スタートアップや起業を志す方の事業計画策定、戦略立案、資本政策、知財・法務等のご相談に対して各分野のアドバイザーが無料で対応する事業です。



FASTAR（アクセラレーションプログラム）

事業課題に悩むスタートアップに対して、資金調達や事業成長の実現を目指して支援専門家が伴走するアクセラレーションプログラムです。



インキュベーション事業

中小機構が全国で29のインキュベーション施設を運営。主に研究開発型スタートアップが事業を立ち上げる際の拠点として事業スペースの提供と専門家によるサポートを実施しています。



ファンド出資事業

中小機構から民間のVC等が運営するファンドに対してLPとして出資を行い、スタートアップへのリスクマネーの供給を促進しています。



債務保証制度

特定の法律に基づき事業計画の認定を受けた中小企業・スタートアップが、民間金融機関等から行う事業資金の借入について、中小機構が債務保証を行う制度です。



中小企業ビジネス支援サイト J-Net21

中小企業への幅広い情報提供と合わせて、起業を目指す方やスタートアップにおすすめの情報コンテンツをご用意しています。



Japan Venture Awards（JVA）

革新的かつ潜在成長力の高い事業や社会的課題の解決に資する事業を行う、志の高いスタートアップの経営者を発掘・表彰する制度です。

